

# 和地ひとみレポート No.214

平成27年度決算は賛成多数で認定。

前進がうかがえる市政・・・

「ロマンとそろばん」のバランスで次なるステップを期待

## ■平成27年度決算

…9月1日から9月27日まで開催されていたH28年東大和市議会第3回定例会の会期中、H27年度決算について審議する決算特別委員会が開催されました。特別委員会で2日間の審議が行われたあと、H27年度の一般会計ならびに5特別会計の決算については賛成多数で認定されました。決算の内容は市報並びに市のホームページでも発表されますが、ここでは、他自治体が行っている『市民目線での決算報告』を参考に、私が作成した概要を報告させていただきます。(裏面をご参照ください)

…H27年度決算の歳出総額は510億866万円で、前年度より35億3,961万円アップ。決算規模最高額をまた更新しました。私も決算特別委員会ではH27年度に実施された事業について様々質疑を行いました。各事業結果については、目標や目的が示されず、結果のみの答弁が多く、結果の良し悪しが明確に示されないことも。H27年度には様々な新事業が実施されましたが、「新事業に取り組んだ」ということにとどまり、内容の充実までには及んでいないと感じたものも少なからずありました。この点について提言したく、私は下記の内容の討論を最終日の本会議で行いました。

## ■平成27年度決算に対する私の賛成討論

…平成27年度東大和市一般会計決算他5特別会計決算の認定に対し賛成の立場で討論を行います。

平成27年度の施政方針で尾崎市長は、重要施策の第一に「子育て支援の充実」を、第二に「教育内容等の充実」を掲げました。そして、尾崎市政の第2期スタート後は「日本一子育てしやすいまちづくり」を大きな目標に掲げ、行政運営を進められました。

また、平成31年度までの5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す「東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組み1年目となった平成27年度は大きな意味で、新たな目標に向けた初年度ともいえ、今決算はその結果ともいえます。

…平成27年度に優先的に取り組んだ子育て支援施策としては、待機児童の解消のための市内保育園の定員拡大、学童保育事業の充実、私立幼稚園等に通う園児の保護者への市単独事業の補助金増額などを、また、学校教育においては、ティームティーチャーやソーシャルワーカーを配置し、通学路には児童・生徒の安全を守るための防犯カメラを設置するなど子育てしやすいまちづくりに向けた事業を多く推し進めたことは評価に値すると思います。

また、平和事業の充実や、市民の憩いの場となる公園の特色ある公園への再生方針を策定したこと、マンホールトイレの設置などの各種災害対策の推進は、東大和市の将来を見据えた意義ある事業となったと考えます。そのほか、街路灯のLED化、公共施設案内・予約システムの導入、コンビニエンスストアにおける住民票の写し等の交付といった、時代に合った「住みよいまち」づくりに寄与する事業なども評価できます。このように平成27年度にはここで述べた以外にも市は新たな取り組みを様々行い、全体的にチャレンジ、積極性が伺える決算となりました。

…財政においては、新学校給食センター建設、本庁舎をはじめ公共施設の耐震化など大きな事業を抱えながらも、財政健全化比率を健全な状態に維持したことは評価しますが、特別会計においては一般会計からの繰り入れをしても、いまだ不安な要素がある状況です。今後も、引き続き長期的な視点を持って「市民生活」が長期的に安定、維持できるよう現実的な検討を継続すべきと考えます。

…「日本一子育てしやすいまち」という大きな目標を掲げた平成27年度の決算を受け私は、経営を継続させるために必要とされる「ロマンとそろばん」という言葉が思い浮かびました。持続可能な行財政運営も経営と同様ではないでしょうか。限られた財源を有効に活用するというソロバンについては、全職員が意識し、前進していると感じますが、自治体間競争が激化している現在において、大きな目標である「日本一子育てしやすいまち」の実現と、その先にある「住みたいまち」「住み続けたいまち」という大きなロマンを全職員が「自分ごと」とし、取り組む意識がさらに必要だと感じます。

…今後は、新事業も既存事業も大きな目標につながる大切な事業であることを再確認し、挑戦だけ、もしくは、現状維持だけではなく、市民や時代のニーズに合うよう内容を充実させるという、次のステップに進み、ロマンを具現化するための具体的な目標や指標は何か全職員で考え、実感できるような組織の強化を推し進めるべきです。尾崎市長には持続可能な行財政運営のため、「ロマンとそろばん」のバランスの取れた、将来を見据えた行政運営をさらに推し進めていただくことを期待し、賛成討論といたします。

## ■平成 27 年度決算に伴う市長からの市政報告より

平成 27 年度は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調が続いたが、その一方でアジア新興国等の景気の下振れなど、わが国経済への影響が懸念される状況もあった。このような中、引き続き、市財政の健全性を維持することとし、市が抱える諸課題に対しても、その取り組みを積極的に進めた。歳入においては、給与所得者の増加や納税環境の改善等により、市民税(個人)の収入額が前年度決算との比較で増額となった。歳出では、「住みよい、活気あるまちづくり」、「福祉の行き渡ったまちづくり」など、様々な施策に取り組み、とりわけ待機児童対策を主な内容とする子育て支援施策については、新制度の開始とともに一層の充実を図ったところだ。また、積立額の増加を図ってきた基金の活用等により、本庁舎等の耐震補強事業、総合福祉センターの整備事業、そして新学校給食センターの建設事業にも着手することができた。平成 27 年度決算における財政指標は、財政健全化法に基づく各比率に関しては、概ね健全性が保たれた内容となり、経常収支比率については、市税等の経常一般財源の増加に伴い、前年度比で 0.3 ポイント減少した。市財政については、様々な施策に取り組む中、積立基金の一定額の確保や経常収支比率の改善など、全体として健全性が維持されていると認識するところだが、今後においても社会保障関係経費の増加等が見込まれ、新たな課題への対応にあたっては、その財源確保において厳しさが続くものと考えている。私としては、行政改革の取り組みを継続的に実施することで、持続性のある行政運営の定着に努め、開かれた市政の中、市の活性化と市民サービスの向上を一層図ってまいりたいと考えている。ついては、市議会並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜り、東大和市の発展に尽力していく所存だ。

## ■平成 27 年度決算

※万単位 ※( )内は前年度比

	【歳入≒収入】	【歳出≒支出】	
全会計	527 億 6,686 万円 (7.1%増)	510 億 866 万円 (7.5%増)	
一般会計	321 億 2,491 万円 (5.1%増)	308 億 2,228 万円 (4.2%増)	教育、福祉、医療、道路や公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	206 億 4,195 万円 (10.4%増)	201 億 8,638 万円 (11.3%増)	国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、土地の区画整理、下水道事業の一般会計と区別する必要がある会計

## ■平成 27 年度一般会計歳入(≒収入)について

市税	124 億 2,397 万円	38.7%
使用料・手数料など	4 億 6,842 万円	1.5%
繰入金	9 億 4,435 万円	2.9%
国・都支出金・地方交付税など	142 億 4,577 万円	44.4%
市債	20 億 5,877 万円	6.4%
その他	19 億 8,363 万円	6.1%
合計	321 億 2,491 万円	100.0%

⇒ 家計が500万円だった場合に置き換えると

給料	¥1,935,000
パート収入	¥75,000
貯金の切り崩し	¥145,000
親からの援助	¥2,220,000
借入金	¥320,000
その他、財産売り払い、利子収入等	¥305,000
合計	¥5,000,000

## ■平成 27 年度一般会計歳出(≒支出)について

人件費	給料など人にかかる経費	44 億 652 万円	14.3%
扶助費	福祉や医療などにかかる経費	105 億 2,121 万円	34.2%
公債費	借金の返済にかかる経費	15 億 3,342 万円	5.0%
投資的経費	施設や後援・道路の整備にかかる経費	20 億 425 万円	6.5%
物件費	光熱水費や消耗品などにかかる経費	41 億 2,919 万円	13.4%
繰出金	特別会計へ支出する経費	36 億 9,405 万円	12.0%
積立金	貯金	11 億 5,117 万円	3.8%
その他	その他	32 億 9,226 万円	10.8%
合計		307 億 3,207 万円	100.0%

一般会計の市民一人あたりの歳出は	¥51,075
¥357,167	¥122,151
※H28年4月1日の住民基本台帳人口	¥17,858
86,044人	¥23,216
	¥47,860
	¥42,860
	¥13,572
	¥38,575
	¥357,167

※歳出の性質別状況の数字については『地方財政状況調査』によるもので、そのルールにより9,020万9,000円が控除されています。よって、上記の一般会計の歳出合計額とは数字は一致しません。

## 市政、議会について「自然体」「ざっばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となり、月刊誌『日経 WOMAN』でのベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
 ✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
 〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102